

評価調査（公募型プロポーザル方式）

発注担当課	事業名	整備予定地	業務上限額	選定事業者
児童家庭課	野田市子ども館整備事業	野田市清水1122番地の1地	795,257,000円	山本建設工業株式会社を代表企業とするコンソーシアム（企業連合）

【評価方法について】

- ・各選定委員の絶対評価による。
- ・評価の基準点は3点（又は6点）とし、右記のとおり評価する。
- ・提案価格に関する評価は価格提案書の記載額により評価する。
- ・各評価項目の点数は評価した選定委員の平均点

評価	点数
特に優れている	5 (10)
優れている	4 (8)
普通	3 (6)
やや劣っている	2 (4)
劣っている	1 (2)

評価項目審査結果

選定基準	評価項目	評価方法	配点	山本建設工業株式会社を代表企業とするコンソーシアム（企業連合）
事業実施体制に関する評価	・事業の実施体制・構成員の役割の適切性 ・技術者の能力・配置の適切性 ・地域力の活用	・設計、施工、工事監理等の役割や責任分担が明確である 3点 ・技術者の配置や資格が適正である 3点 ・地元経済の貢献に繋がる具体的な提案がある 3点	15	10.64
事業工程計画に関する評価	・提案した工程や期間での業務の実効性 ・事業全体、特に建設工事の工期を短縮する工夫	・設計から工事完了まで全体のスケジュールは適切で実効性のある計画である 3点 ・工期を短縮する工夫がされている 3点	10	7.09
リスク管理計画に関する評価	・リスク回避上の工夫 ・リスク等発生時のバックアップ体制 ・その他事業計画上の配慮した点	・予期せぬ事態において、事業計画や事業費の変更等を起こりにくする工夫が講じられている 3点 ・工事中、緊急時においても十分な体制が確保されている 3点 ・実施計画において独自に配慮した点がある 3点	15	10.45
事業計画に関する評価計(40点)			40	28.18
全体配置計画に関する評価	・施設等の配置の適切性 ・動線計画の適切性	・敷地特性を効果的に活かした施設配置、敷地利用（遊具・駐車場・植栽）となっている 3点 ・利用者動線や車両動線など安全確保が図られた計画となっている 3点	10	7.91
施設計画に関する評価	・各室や各コーナー等の配置の適切性 ・子育てや地域交流の拠点としての適切性 ・災害時等における避難施設としての適切性 ・その他計画上の配慮した点	・各室、各コーナー等の配置や規模、機能等が適正に確保されている 3点 ・子育て支援や地域交流の拠点として安心して安全に利用できる居心地の良い施設として工夫されている 3点 ・災害時等は、避難施設としての機能が考慮されている 3点 ・施設計画において独自に配慮した点がある 3点	20	14.00
建築デザイン・景観、周辺住環境への配慮に関する評価	・デザインコンセプト ・色彩、内外装仕上げ等の計画の適切性 ・周辺地域との調和等、景観や住環境への配慮 ・その他独自に配慮した点	・卓越した技術・デザインを提案している 3点 ・仕上げ材は、長寿命で耐久性に優れ、清掃、補修、点検等の日常的な維持管理が容易である 3点 ・周囲の低層住宅の環境に配慮した計画となっている 3点 ・建築デザインや景観、周辺との調和等、独自に配慮した点がある 3点	20	15.27
魅力的な子ども館計画に関する評価	・高低差を活かし、施設整備を含め、様々な体験や遊びができるような魅力的な空間の創造性 ・その他独自に配慮した点	・企業の経験、ノウハウなどを活かし、魅力ある提案がされている 3点 ・傾斜のある敷地の特徴を生かした提案がされている 3点 ・子どもたち全てが安全に安心して過ごせる場となるような空間（部屋）となっている 3点 ・多様な利用ニーズに応えられるような様々なプログラムに対応できる空間となっている 3点 ・開放的で利用しやすいゆくりのある空間となっている 3点 ・周囲の自然環境と連携できる施設となっている 3点 ・来館者すべての人に優しいユニバーサルデザインに配慮した施設となっている 3点 ・魅力的な空間の創造として独自に配慮した点がある 3点	40	30.55
環境負荷低減・ライフサイクルコストの低減に関する評価	・施設の省エネルギー対応 ・維持管理コスト低減のための配慮	・省エネルギー対応の設備や自然エネルギーを活用など、環境負荷の低減に配慮している 3点 ・長寿命化や維持管理のしやすさなど、ライフサイクルコストの提案に配慮している 3点	10	6.91
施設計画に関する評価計(100点)			100	74.64
プレゼンテーションに関する評価	・事業の理解度 ・業務への取組意欲 ・提案の説明能力 ・対応能力	・事業の内容を理解した企画提案となっている 3点 ・事業に積極的に取り組む姿勢や責任感が見受けられる 3点 ・提案内容は明確に説明されている 3点 ・質問に対する対応が明快である 3点	20	15.55
プレゼンテーションに関する評価(20点)			20	15.55
児童館等の実績に関する評価	・児童館の設計実績 ・児童福祉施設の工事実績	・1,000㎡以上棟数10点、1,000㎡以上8点、500㎡以上1,000㎡未満6点、300㎡以上500㎡未満4点、300未満 2点 ・1,000㎡以上棟数10点、1,000㎡以上8点、500㎡以上1,000㎡未満6点、300㎡以上500㎡未満4点、300未満 2点	10	10.00
児童館の実績に関する評価計(20点)			20	16.00
提案価格に関する評価	・価格提案書の記載額による評価	・価格審査点＝（最も低い提案額/当該提案額）×20点	20	20.00
提案価格に関する評価計(20点)			20	20.00
評価点合計(200点)			200	154.37

※令和元年11月7日開催の野田市子ども館整備事業 設計・施工一括発注公募型プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）において審査した結果、委員会では「提案価格は野田市子ども館整備事業 設計・施工一括発注公募型プロポーザル事業者募集要項に定める提案上限額を下回っており、定性的事項と定量的事項の審査による総評価点の50パーセント以上であり、適格要件も満たしていることから、山本建設工業株式会社を代表企業とするコンソーシアム（企業連合）を野田市子ども館整備事業の選定事業者とする。」との決定がされた。